

CHALLENGE!

FUKUI WAKAMONO FORUM

私たちの未来は、
福井の未来だ。

チャレンジを応援する まちであり続けるために

「ふくい若者フォーラム」は
"福井の若者による、若者のための、若者活動応援組織"です。

はじめは平成23年のこと。

若者たちが誰でも夢に向かって一步を踏み出し、

つながりの輪をゆるやかに広げていける

そんな土壌を育みたいという思いから、

福井県と有志メンバーによる「ふくい若者チャレンジクラブ」が発足しました。

令和元年度には「ふくい若者フォーラム」として生まれ変わり
「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」「ふくい若者ミライ会議」

「ふくい若者ステーション」の3つの活動を通じて、

県内の若者たちの輪を広げています。

一人ひとりの活動は点かもしれませんが、

つながり合えば大きな面となる。

そんなまちの未来を思い描きながら

若者のチャレンジを後押しし続けていきます。

Index

- 3 CROSSTALK 大嶋歩 × 藤本一希
- 4-5 県民ワクワクチャレンジプランコンテスト
- 6-7 ふくい若者ミライ会議
- 8-9 ふくい若者ステーション
- 10-11 ふくい若者フォーラムメンバーからのメッセージ

藤本：大嶋さんはふくい若者フォーラムの前身である「ふくい若者チャレンジクラブ」から参加されていましたが、きっかけは何だったんですか？

大嶋：県の方からの紹介ですね。当時は会社員で、会社以外の人間関係を広げたいと思っていました。

藤本：僕もそうです。当時は医療機関に勤めていましたが、地域とつながる機会になればと参加しました。

大嶋：ふくい若者フォーラムは「ふくい若者ミライ会議」「県民ワクワクチャレンジプランコンテスト」「ふくい若者ステーション」と3つの分科会がありますが、藤本さんとは「ふくい若者ミライ会議」で一緒でしたね。

藤本：第1回のふくい若者ミライ会議は杉本知事にも参加していただき、福井の未来について話し合った記念すべき会でした。

大嶋：回数を重ねていくなかで、福井の未来から一人ひとりの未来についても考えるイベントに変化していったように思います。ゲストの話を聞くだけでなく、自分の考えも掘り下げて言語化する機会は貴重ですね。

藤本：イベント後も、登壇者に連絡を取ったり会いに行ったりする参加者もいて、ちゃんとアクションにつながっているのも嬉しいなと思います。

大嶋：ワクチャレも年々変化し、今年度からはメンターのフィードバックや審査後のアフターフォローも増えました。

藤本：出場することで事業としての質が上がり、県内全域に認知されるので、大きな経験になりますよね。

大嶋：採択されたチームに与えられる支援金の使い道に制限を設けていないのは、自治体のコンテストでは珍しいこと。だからこそいろんな方にチャレンジしてほしいと思っています。

藤本：「ふくい若者ステーション」では、そんな県の制度や取り組みを知ることできます。若者の交流拠点として県内各地に設けていますが、ぜひ活用してほしいです。

大嶋：ミライ会議で自分のやりたいことを見つけ、ステーションで人とつながり、ワクチャレに挑戦してみる。そんなサイクルを作れるよう、これからも若い人たちを応援していきたいですね。

CROSSTALK



大嶋歩

ふくい若者フォーラム初代会長



藤本一希

ふくい若者フォーラム会長
2021年度・2022年度

ふくい若者フォーラムの会長を務めた二人に、
これまでの活動を振り返っていただきました。



“ワクチャレ”は、「地域をもっとよくしたい!」「福井で自分の夢を叶えたい!」
そんな熱い想いを持つみなさんの、新たな一歩を応援します!

「ワクチャレ」とは?

地域の課題解決や活性化に繋がる活動を通して、福井に住むみなさんの夢を叶え、地域を盛り上げるプランを発表するコンテストです。18～39歳の若者が地域課題の解決に取り組む「若者部門」、女性による福井の活性化を目指す活動を発表する「女性部門」、地域活性化に取り組むNPO団体が地域課題解決のプランを提案する「NPO部門」と3部門で開催し、公開プレゼンテーションによる審査によって採択するプランを決定します。



やりたいことに一歩近づく!

事業を始める時に立ちは大なる大きな壁が「資金」。ワクチャレでは審査を経て採択されたプランに、20万円から最大100万円を支援します。思い描いたチャレンジを絵に描いた餅で終わらず、形にすることで、みなさんの「やりたい!」を応援します。

経験豊富なメンターがサポート

プランを実現するためには、事業を自走させていくための計画が大切です。ワクチャレでは、コンテスト参加者のうち希望者を対象に、県内の地域事業家がメンターとして、事業構築、収益化・人材紹介・広報指導など、資金提供以外の支援を行います。採択・不採択問わず、アドバイスを受けられるのは大きなメリット。事業を計画するのが初めての方も安心してチャレンジできます。



ワクチャレ、 どうだった?

ワクチャレ参加者の
リアルな声をご紹介します。

2019年度採択者
福井微住.com
田中佑典さん



自分のやりたいことが
認められた喜び。

ワクチャレで提案したプランは「福井発祥の新しい旅のカタチ」。自分たちが生みだそうとしている価値を短い時間で伝えられるだろうか…と不安や緊張が入り混じった審査会でした。結果は見事グランプリでしたが、支援金をいただいたこと以上に、自分のやりたいことを評価していただけたことがとても嬉しく、自信につながりました。福井のなかでも世界が広がったワクチャレは、採択されてから3年以上経った今でも、自分自身の大きなきっかけになっているなど感じています。

共感してくれる仲間を
見つける場所。

2022年度採択者
中山佳男さん
一般社団法人日本おもしろスポーツ連盟



もともとプレゼンテーションは得意だった私。ワクチャレの審査会ではこれまでの実績などを華々しくアピールする予定でしたが、メンターの竹本さんから「審査会は賛同してくれる仲間を作る大切な機会」とアドバイスをいただき、スポーツの楽しさやこれまで試行錯誤してきた道のりを丁寧に伝えることを意識しました。結果、私たちのプランに共感してくださった方が増え、参加者同士のつながりも生まれるなど、今の活動に欠かせない新たな仲間がたくさんできたと思います。

続けるためには
「熱量」が大切。

メンター
竹本祐司さん
福井県まちづくりセンター



2019年度、2020年度は審査員として参加し、2021年度からはメンターとしてワクチャレにかかわっていますが、年々参加者のレベルが上がっているのを感じますね。事業は始めること以上に、実は続けることの方が難しいもの。そのためには内容はもちろん、人や資金などさまざまな要素が必要ですが、何より大切なのはその人の「熱量」だと感じています。企画は荒削りであっても私たちがサポートするのでご安心を。まずは自分の熱量をワクチャレにぶつけてみてください!

県民ワクワクチャレンジプランコンテスト2023は
実施に向けて検討中です。乞うご期待!



詳しい募集要項は2023年7月頃に、県民活躍課のホームページで公開します。

ふくい若者フォーラムの
Youtubeチャンネルもチェック

ふくい若者 ミライ会議

自分の想いやアイデアを伝え、
仲間と共有し行動に移す
最初の一歩目となるイベントです。

パネラー×参加者のコミュニティイベント



福井の未来を創る若者が 集まり、交流する

ふくい若者ミライ会議は、ゲストをまじえたトークや参加者同士がグループになって行うワークショップを通して、自分自身の未来をつくりだす意欲と創造性を育むイベントです。「福井で何かやってみたい」「熱い想いを持つ仲間を見つきたい」そんな若者たちの1歩踏み出す“きっかけ”づくりを応援しています。



ゲストの半生から学び 考えるきっかけに

毎回個性あふれるゲストが登場するふくい若者ミライ会議。パネルディスカッションではゲストにこれまでの半生を振り返っていただき、成功体験や失敗体験、それによって生まれた価値観などを語っていただきます。ゲストが届ける圧倒的な熱量は若者の心を動かし、自分自身のあり方や生き方を考える大きなヒントになるはずです。



同じ世代の人の話を聞き 自分の想いを具体化する

ゲストによるトークの前後には、参加者同士がグループになって自分の考えを話し合うワークショップを行います。同じ世代の仲間たちが抱えている悩みや考えには共感ポイントがたくさん！さらに普段から抱えている自分の想いを言語化することで、やりたいことや叶えたいことが見つかるかもしれません。



終わった後も続く ゆるいつながらり

ふくい若者ミライ会議に参加した方には、ゲストや参加者、運営メンバーたちによるSNSを使ったグループコミュニティにご招待！イベントが終わった後もオンラインでもゆるくつながりながら、さまざまな刺激を受けることができます。自分たちの活動の進捗や告知、仲間集めなど交流の場として活用してください。

一歩を踏み出す “追い風”が吹く

何かに挑戦する時、満を待して始めるよりも「ついやってみたいくなって」始める人は多いのではないのでしょうか。今回、僕はミライ会議の運営で、人と人との出会いによって起こる「風」を感じた気がします。「家庭の事情で」とか「自分にできるのかな？」など、何かが引っかかり1歩踏み出せないという声を初めは多く聞きました。しかし参加者同士が話す中で、その人が思わず1歩を踏み出しちゃう“追い風”が吹くのを感じたんです。同じ背景を理解し、互いの背中を押し合い、励まし合える関係が作られていく。それが、ミライ会議の一番の面白さです。

ふくい若者ミライ会議 運営メンバー
田川裕大さん



ふくい若者ステーション

ふくい若者フォーラムでは、若者の活動・交流の拠点となっている
コワーキングスペースやカフェなどを「ふくい若者ステーション」として認定しています。

ふくい若者ステーションは **こんな場所!**



まちづくりのキーマンに会える!

ステーションを運営しているのは、まちづくりのキーマンたち。普段活動するなかで感じたリアルな声を聞くことができます。自分が地域でやってみたいことを相談するのもおすすめ。「地域で活動したいけど、その一歩を踏みだせない」「地域で活動する人に出会いたい」という方はぜひ足を運んでみてください。

新しい仲間ができる!

学校や職場など、いつものコミュニティとは違う仲間に出会えるのが「ふくい若者ステーション」のいいところ。ステーションによって個性が異なるのも大きな特徴です。地域で活動する“おもしろい若者”たちが集まっているので、新しい価値観にふれ、人脈を広げることができますよ。また、イベントスペースとしても気軽に利用しやすい会場が多いので、活動の拠点としてもご利用ください。



県の意外な取り組みもわかる!

ふくい若者ステーションでは、福井県の取り組みについて情報発信している場所もあります。県で実施している事業や制度のなかには、実は若者を対象にしているものも。普段なかなか目につくことがないかもしれませんが、意外に活用できる制度がたくさんあるのでぜひチェックしてみてください。

新しいつながりを作るイベントも開催!

「ふくい若者フォーラム」では、ステーションの運営者や新しい仲間と、ゆるくつながるイベントも開催しています。普段出会うことのない職種の人と話したり、自分のやってみたいことを相談したり……初めて参加する人も気軽に楽しめるイベントを、今後も県内各地で企画していきます!



ふくい若者ステーションをもっと使いこなそう!

県内でステーション運営する二人に、ステーションをもっと楽しむための方法を教えてもらいました。



海渡由紀子さん
「SABAE MEGANE HOUSE」



みんなでワイワイ合宿!?

古き良き家をまるごと貸し切り、仲間たちと合宿!?そんな夢のような使い方ができちゃうのが「SABAE MEGANE HOUSE」。自分でイベントを企画して、知らない人たちと出会う、なんてこともOKです。大きなキッチン、畳の大広間、BBQができる庭、さらにmade in SABAEめがねが100本以上かけ放題!めがねに溢れた漆塗りの古民家は、使い方自由自在! フェス、ライブ、お祭り、真面目な合宿…奇想天外な新しい過ごし方がここで誕生しています。宿主は30代の自由人4人、私たちとの会話も楽しんでくださいね!



SABAE MEGANE HOUSE
鯖江市別司町31-17

新しい価値観と出会う場所

福井県の南越前町にある「玉村屋」は、他のステーションとは少し違う場所。ここでは地域の人とつながり、その人の仕事をお手伝いすることで、様々なことを学べます。農家さんから野菜を育てる想いを聞くことで、食材の見え方が変わります。ピザ屋を営む夫婦から教えてもらう等身大の飲食店経営や商品づくりの信念は、自分自身の仕事や考え方に活かすことができるでしょう。玉村屋で体験したことをきっかけに、夢を実現する一歩を踏み出した人が何人もいます。ここで、今の自分を変えるきっかけを作ってみませんか?



地域まるっと体感宿 玉村屋
南越前町今庄82-10



中谷翔さん
「地域まるっと体感宿 玉村屋」

県内のふくい若者ステーションはこちらから



あなたの拠点も登録しませんか?
ふくい若者ステーション認定制度



これから ふくい若者フォーラムの

19名のメンバーに
「ふくい若者フォーラム」の
今後に期待することを
語ってもらいました。

ミライ会議



藤本一希さん

20年後を作るのは若者です。若者が福井で挑戦できる環境、若者同士が繋がれる環境をつくり、若者によるアクションを増やします。

ミライ会議



高島宏希さん

さまざまな挑戦をする若者同士がつながり刺激し合いながら、今後の福井を盛り上げていけるような活動をしていきたいと思います。

ワクチャレ



伊藤弘晃さん

福井の若者や福井をふるさとと感じる若者のプラットフォームとなり、若者のチカラを世界に発信していける場になれば良いなあ～。

ミライ会議



田川裕大さん

若者フォーラムはチームです。メンバー同士の強みを生かし合い活躍できる若者フォーラムの輪が更に広がっていくのが楽しみです！

ミライ会議



辻孝展さん

若者が福井をもっと好きになれる場であり続けて欲しい。コミュニティ間のコラボを通してより良い価値創造に繋がっていききたいです。

ワクチャレ



桑島康郎さん

みなさんを繋げる架け橋となることを期待します。微力ではありますが、自分はマジックで盛り上げていきたいと思っています！

ワクチャレ



御子柴北斗さん

生まれも育ちも福井ではない僕は、若者フォーラムを通して同世代の熱くて面白い人たちと繋がり、視野がぐっと広がりました！

ワクチャレ



今井三偉さん

若者フォーラムはみんなの何かやりたいを応援する組織です。悩んだらやってみて、やってみると意外に楽しい未来が待ってます！

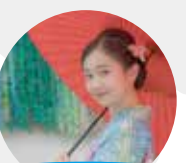
ワクチャレ



佐々木秀仁さん

ふくい若者フォーラムが、夢のチャレンジの実現に貢献し、「とんがっているふくい」を世界中に発信できる日に期待しています！

ステーション



加藤紗也佳さん

福井県の若者が入りやすいアットホームな組織にしていきたいです！女性も男性も心から楽しめる団体を目指していきます！

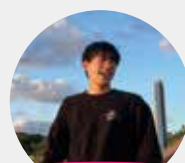
ステーション



田中健裕さん

どの時代も若者が新しい時代を築いてきました。福井の未来は活発な若者が作っていきます。みんなで繋がり面白くしていきましょう。

ミライ会議



佐々木健太さん

福井の若者が「動きやすい環境」「繋がりやすい環境」を作っていききたいです。輪が広がり、仲間が増えていったら嬉しいですね！

ステーション



中谷翔さん

福井は「人とつながりやすい」が魅力のひとつ。福井で面白く暮らしている人とのつながりの一歩目をここで作りませんか？

ステーション



海渡由紀子さん

やっちゃんえ、ワカモノ！みんなの夢ややりたいことが広がり、毎日の暮らしがちょっと面白く、楽しくなることを期待しています。

オブザーバー



竹本祐司さん

ミライ会議



大川晴菜さん

チャレンジする若者のそばに、ふくい若者ミライ会議がある！そんな場所になれるよう、皆さんののびのびと活躍できますように！

ワクチャレ



木下仁資さん

福井で頑張る若者が仲間を見つけ、地域づくりの主役となる舞台を作る、そんな想いを一緒に作れるフォーラムにしていきたいです！

ミライ会議



杉浦颯一郎さん

ふくい若者ミライ会議の活動で多くの刺激を受けました。私自身の望むミライを目指し、熱を伝播できる一人になりたいと思います！

ワクチャレ



松原ゆうさん

福井で生きる皆さんの思いや活動を、少しでも良い形にするお手伝いがしたいです。是非私達に思いを伝えてみてください！

ステーション



林昇平さん

福井の若者のニーズに応え、様々な活動ができていると感じます。今後は、方針決定など運営面も若者が担う体験を期待します！

アドバイザー



大連達揮さん

ふくい若者フォーラム

発行：ふくい若者フォーラム
事務局：福井県地域戦略部 県民活躍課
0776-20-0237



fukui_wakamono_forum

